

## 日本語ボランティアに望まれる 資質とは？

### 出前講座の 役目を考える

1993年、都内で活動するボランティア日本語教室の有志団体が、三つの目標を掲げて東京日本語ボランティア・ネットワーク(TNVN)を結成しました。

目標1は、『ボランティア日本語教室ガイド東京』の作成で、これは3~4年

毎に作成・配布されています。常に最新情報が見られるホームページ「ガイド」も広く活用されています。

目標2「情報交換」については、3か月ごとに発行される「TNVNネットワークニュース」、そして「情報・意見交換会」が必要に応じて開かれています。

### 目標3

#### 日本語ボランティアの資質向上

資質向上のためには、'94年から「日本語ボランティア講習会」、「入門講習会」を定期的に行いました。特に、日本語教師の真似をするなどお叱りをいただいたこともあり、日本語ボランティアに望まれることは何かと皆で考える機会を作り、外国の方を隣人として支援するための「講座」となるよう企画してきました。

その後、会員団体と共催で「講座」をその活動地域へ出前するようになりました。区市などからも「講座」の出前を依頼されています。

2010年、「わかる日本語」研究会がスタート、その成果が出てきた最近は、「わかる日本語」の講座も依頼されています。

#### 資質向上とは？

最近、日本語ボランティアの資質とは？と考えさせられる問題がありました。日本語ボランティアは何を学んで資質を向上させればいいのでしょうか。TNVNの講座には、日本語学習の支援方法だけでな

く、日本で暮らすためへの支援、また教室運営について考える機会も入れてきました。日本語ボランティアに望まれる資質について改めて一緒に考えてみませんか。ご要望に応じて講座を出前いたします。

#### 講師からひとこと

●「入門講習会」の時代から、ボランティア講習会に関わっています。日本語ボランティアを「教師のまねごと」と否定的に捉えていた組織が、その意義を認め積極的にボランティア養成に関わるなど、時代の変化を実感しています。(藤橋帥子)

●現役の日本語ボランティアさんを対象とした講習会では毎回参加者の方から刺激をいただいています。ほかの地域の活動を聞いて、悩みや手法をシェアできる、そして自分の現場に持って帰るヒントがもらえる、そんな場を提供したいと思います。(山形美保子)

●大学の日本語講座を持ちながら、地域の外国人市民の日本語支援を同時に考える面白さを、味わっています。この講座に関わらせていただいているから、私の世界

は大きく広がりました。これからも、いろいろな背景を持つ日本語学習者の皆さんとの橋渡しをしていきたいと思っております。(金子広幸)

●話す相手、時、場面に応じて、千変万化する日本語。その全てを学習者に伝えることは難しいかもしれませんが、教科書で勉強できない微妙な違いを伝えられるのが日本語ボランティアではありませんか。(林川玲子)

●「私たちは日本に住んでいる外国人です。けれど、ゲストではありません。日本社会の一員です。私たちにも社会のためにできることがあると思います。」教室参加者のつぶやきです。このような人たちと、より住みよい社会をつくっていく、そんな教室活動を考えたいですね。(宮崎妙子)

●今、私たちは生活環境の中で、多くの外国人と出会っています。その人たちと“わかりやすい日本語”で、会話をしたり、お知らせや情報を伝えることで、お互いに気持ちよく交流出来る社会となります。日本語ボランティアの活動はその橋渡しです。

(梶村勝利)

# 外国人のための生活便利帳 改訂版を作成しました

東久留米市市民部生活文化課

東久留米市の外国人の在住状況は、1,827名(H28.10.1現在)で、全人口の約1.5%強、主な国籍は中国、韓国、フィリピン、アメリカなどです(平成27年版統計東久留米より)。ほとんどの外国人が本市を生活の拠点として定住する傾向が増えています。しかし言葉が通じないことや生活習慣の違いから、地域の日本人とトラブルになるケースや、病院の通院に支障をきたすケース、国際結婚から起こる家族関係の問題、日本の学校に通うことになった子どもの状況など、地域で生活する上での課題も複雑化しています。

本市では、地域での多文化共生事業や日本語教室事業が市民活動レベルで盛んに行われており、外国人への生活支援等心のよりどころにもなっています。平成27年度一般財団法人自治体国際化協会の「多文化共生まちづくり促進事業」助成金を活用した、「外国人のための生活便利帳・改訂版」も、市と翻訳ボランティア「外国人のための生活便利帳を作る会」との協働事業として作成しました。

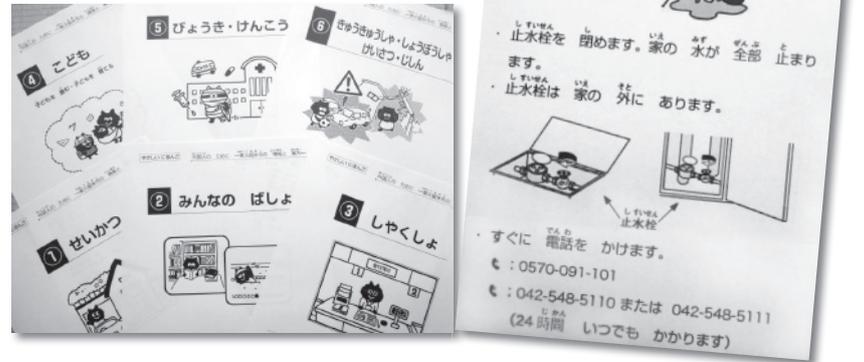
作る会と協議を重ね、英語・中国語・韓国語圏以外の外国人に対応するためには、単に日本語版にルビを振る、分かち書きをするといった形式的な配慮だけでなく、使う言葉それ自体の選択と、伝えるべき情報を精査した「やさしい日本語版」の発行が必要であると考えました。

## ●初めての挑戦 ～やさしい日本語版

執筆:やさしい日本語版作成チーム

「外国人のための生活便利帳」の特徴は、分野別に6分冊方式で英語、中国語、韓国語版にやさしい日本語版を加えたことです。

まずTNVN発行「わかる日本語」研



究会の報告及び各種資料から、やさしい日本語で作成する上での留意点をひとつと学びました。チームには外国人も加わり、「外国人にとってのわかりやすさ」を常に意識しながら言葉を選び作業を進めました。特に配慮したことを下にまとめます。

### ①対象の設定

読み手としては、ルビのある簡単な日本語を読み取れる方を想定しました。具体的には「みんなの日本語初級I・II」の学習を終えた方、日本語能力試験のN3レベルの方などです。

### ②単語や文型に関するルール

単語は原則N3レベルよりやさしいものを使用しました

(単語のレベル判定にはサイト「チュウウタの道工具箱」を参考にしました)。ただし言い換えの出来ない固有名詞はそのまま残し、説明としてイラストを多く使いました(健康保険証・母子健康手帳・止水栓・制服ほか)。

その他、分かち書きや漢字・カタカナへのルビ、文は短く簡潔にし、文末表現も統一するよう心掛けました。情報は整理し表を活用しました。

### ③編集時の工夫

表紙のイラストと表題(ひらがな)は、冊子の中身が想像できるようにしました。本文は、外国人と相談しながら必要度の高い情報を精選して、直接的な表現を心がけました。巻末には地図や問

診票、相談機関の案内などが載せてあります。

### ④配布

「外国人のための生活便利帳」は各公共機関の窓口でサンプルが閲覧でき、入手希望の方は市役所でもらえます。市内の日本語教室では、外国人に直接手渡しし知り合いにも紹介してもらっています。

## ●課題

4言語(英語・中国語・韓国語・やさしい日本語)で作成した「外国人のための生活便利帳」ですが、必要とする方に直接届けられていない事が一番の課題です。便利帳を読んだ外国の方から感想をもらうための工夫も必要だったかもしれません。

## ●おわりに

やさしい日本語版作成は、悩み尽きぬまま終了となりましたが、「外国人のための生活便利帳」は、地域版の新聞に掲載され、市のHPでも閲覧できることで、多方面から問い合わせがありました。特に「⑥ぎゅうぎゅうしゃ・しょうぼうしゃ・けいさつ・じしん」は、「そのまま(自分の)地域で使える」や「日本語教室でテキストとして使いたい」という声もいただきました。外国の方や支援者の皆様に少しでも役に立てばと願う次第です。

# はたらくためのにほんご

## 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE)

最近、「はたらくためのにほんご」と書かれた日本語研修の案内を目にする機会が増えたと思います。案内を読みますと、月曜から金曜まで、様々なレベルに分けて、昼のコースは毎日3時間、夜のコースは毎日2時間の授業が、各期二ヶ月から三ヶ月に亘って、受講料無料で行われており、総授業時間はレベルに応じて90時間～132時間となっています。

\*\*\*

TNVNでは、この研修についての理解を深めると共に、皆様にもこの研修についてより詳しく知っていただきたいと考え、新宿に本部のある“日本国際協力センター”にお邪魔して、研修事業部多文化共生課の田辺さんからお話を伺いました。そして、午後のレベル3コースの授業を見学させていただき、授業の後、受講生からお話を伺う事が出来ました。

\*\*\*

この研修は「はたらくためのにほんご」となっている通り、日本に定住している外国人求職者を対象にした研修で、平成20年のリーマンショックの派遣切りで失業したペルーやブラジルから来た日系人を対象に、日系人緊急雇用対策として実施された「日系人就業準備研修」が元になっています。この「日系人就業準備研修」は平成26年度で終了し、その後継事業として「外国人就業・定着支援研修」が始まり、就業に制限のない在留資格を持つ外国人で就業意欲のある人であれば、この研修を受けられるようになりました。今までJICEの研修が殆ど知られていなかったのは、失業した日系人が対象だった為、また研修

を実施した地域も、ペルーやブラジルから来た日系人が住んでいた地域に限られていた為で、後継事業として「外国人就業・定着支援研修」が変わってから、東京都や大阪府など外国人が多く住む地域で研修を実施するようになり、私達も知るようになりました。

\*\*\*

JICEで行われている日本語研修は職場で使われる日本語が中心で、私達が見学させていただいた授業では、受講者が4～5グループに分かれ、レストランでお客様からのクレームにどう応えるかを、教科書を参考にしながら、お客様の受講者のクレームを店員役の受講者が対処する練習を徹底してやっていました。教科書はレベル1からレベル3ではJICEで作った「はたらく人の日本語」を使っています。職場で使う日本語と仕事を探す時に必要な求人票の読み方、履歴書の書き方、面接の受け方をレベルに合わせて勉強しているというご説明でした。

私達が見学をしたクラスでは、フィリピン、ロシア、中国、イギリスなど11カ国22名の研修生が学んでいました。

\*\*\*

「外国人就業・定着支援研修」の受講者は、東京の場合、英語圏からの人が多いとのこと説明で、アジアからの人が多いのではと想像していたので、ちょっと意外でした。年齢は30～40代の人が多いそうです。この研修は、受講出来る資格

を持っている外国人には、お得で有意義だと感じました。只、研修修了までの条件は厳しく、出席率80%以上でないと修了証書を手にする事は出来ないそうです。

\*\*\*

今年度の「外国人就業・定着支援研修」は、東京都23区内に5ヶ所、市部に2ヶ所で行われていますが、住んでいる地域によっては、交通費や会場までの往復時間の問題等から、研修を受けたくても機会を逃している人が結構いるのではないかと感じました。

授業終了後、ロシア人、イギリス人、日系ドイツ人、エクアドル人の、四名の研修生の方々がインタビューに応じて下さいました。皆さん其々に、日本で積極的に活躍なさっていらっしゃるご様子が伝わって来ました。私達の「何故この講座を受けようと思ったか」と云う質問に対し、多くの方が「漢字を習う為」と答えたのが印象的でした。ボランティア教室では、どちらかと云うと、文字、とりわけ漢字は学習者に敬遠されがちですが、日本に定住して仕事をするとなると、漢字を習得して履歴書が書ける事が必須になるのでしょうか。ちょっと気付き難い答えでした。(文責/神歩)





# 気になる敬語の 使い方—2

日本語教師 金子 広幸

87号で「気になる敬語の使い方」というテーマで一文を書きました。

世のあちこちで「美しく正しい日本語を」という言葉が聞かれますね。しかし、この21世紀の日本の日本語教師の私の気持ちとしては、「伝統に根ざしたい」というよりも「現状を観察・把握したい」と思うことの方が勝っています。それはなぜかというと、学習者の皆さんが触れているのは、まさに21世紀の現代日本語であって、必ずしも「美しく正しい日本語」とは限らないからです。

各地の講演で私が時々お話しするのは、その学習者に必要なのは、「現場にある日本語」であり、決して「規範となるべき日本語」ではないということです。

私が担当しているクラスでも、時に「クラスで習う日本語と、周りの日本人が話す日本語は違う」と言われたりします。初級学習者には、「今は『通じる日本語』を勉強しているのだから、少し違うこともある」と言い、上級の学習者には、「周りをよく観察して、自分のスタイルを選べるようにしなさい」と言い続けています。

ただ……、やはり私も日本人。新しい言い方には敏感です。あくまでも日本語を教える立場から、「これは新しく登場した言い方だ」と思いつつ、それをどう扱おうかと迷うこともあります。

ここによく取り上げられる問題を挙げて、読者のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

• 「お使いになれます」?

「お使いいただけます」?

敬語の世界では通常、目上に対して能力を問うのは失礼であるという考え方からか、敬語と可能表現を合わせて使うという事はあまりありません。したがって「英語がお話しになれますか」や「お酒が召し上がれますか」という文は、文法上存在できても、限られた特殊な能力を問う場合などを除けば、現状ではあまり使われていません。

学習者たちの背景言語ではどうかと聞いてみると、興味深いことに、「目上に対しては能力を問うことを避ける」と答えた学生が多くいました。

以上のような複雑な状況がまずありますが、相手の能力を問わない、状況可能の場合、日本語の敬語の可能表現には以下の2つの種類があります。

①「Wi-Fiは1階のロビーでお使いになれます」

②「Wi-Fiは1階のロビーでお使いいただけます」

です。①は、「使います」を尊敬の文型「お(動詞のます形)になります」に当てはめ、最後の部分の「なります」を可能形に変えた形なので、学習者も

理解しやすく感じるようです。一方、②は、「相手の行為に、なぜ謙譲語の「いただく」をつけるのかわからない」という反応が学習者から頻出します。ここには、「話者の私たちが提供するサービスの一環として、何かをお客さんに(私たちが)利用していただく」という文脈があって、その最後の「いただく」が可能形になった構造です。…日本人が聞いてもわからない説明に学習者は首をかしげています。

……と、ここまでは文法の教科書にも載っているようなことなのですが、現状観察をしてみましょう。私は「上から目線度(金子命名)」が違う気がします。いつかこれをどこかで確かめたいと思っていますが、読者の皆さんいかがですか。「上から目線度」は①のほうが高いではありませんか。だからへりくだったサービスを旨とする日本中のホテルの掲示には、①よりも②を使おうとしているでしょう。

頭で考えると、ストレートに、「お使いになれます」の方がいいような気がしますが、どうしても「上から目線」を感じてしまうのはなぜなのでしょう。現状観察は大切ですね。

• 「二ナリマス」

これは本当に定着していて、40代50代以上の人でもかなり使用してい

ます。もうこれを間違いだとは言えないくらいです。レストランでは例外なく「こちら、ご注文のお料理ニナリマス」と言っていますし、大学でも「お給料の明細書ニナリマス」と言うようになりました。話し手が「聞き手にとって新しい情報だ」と判断するとき、より多く使用されているようです。もともと「でございます」が使われていましたが、私はよく使っている「でございます」には、堅苦しい雰囲気があるというも確かに頷けます。

そこで、最近私は減りつつある？「でございます」を使っているところを意識して探そうにしました。そうしたら、ありました！エレベーターの中です。「9階でございます。」憧れのエレベーターガールが絶えて久しいこの日本社会、機械が「美しく正しい日本語(笑)」を継承してくれていたのです。また、都内でも高級住宅として知られる世田谷を貫いて走る東急電鉄の放送では「二子玉川でございます」と言っているのです！東京メトロは「新宿三丁目、新宿三丁目。ご乗車ありがとうございます」なのに、です。でも、……もしかしたら、あと10年くらいすると、「にこたまニナリマス」などと言い始めるかもしれません。

変わりつつある現状を観察することも大切です。

・「行かなかったです」？

「申し訳ないです」？

待遇表現からは少し離れて文体の話です。これも87号で軽く触れましたが、最近気になるのは、一部の普通形に直接「です」をつけた言い方です。

「昨日行きましたか」と問われたら、「いいえ、行きませんでした」と答える

ように習っている学習者たちは、日本の大学生などが「いいえ、行かなかったです」と答えていることに気づいて、驚いています。初級のどこかで「行かなかった(ん)です」を習っているので、そのまま素通りしてしまっている学習者もいますが、私の担当する大学院のクラスでは「これは新しいスタイルの日本語ですか」と質問してきた学生もいます。

③日本人じゃありません。

④日本人じゃないです。

この2つを比べると、③の方が丁寧な感じがしますね。

い形容詞の否定の場合は、教科書によって「寒くないです」か「寒くありません」の両方が出ていて、どちらも間違いとは言えないのですが、な形容詞や、名詞句の文末の場合は特に丁寧さに差が出るらしく、③だけが標準的な形として提示されています。現実には④も日本社会で使われている言い方ですが、50代のオジサンの耳には、ちょっと奇異に響きます。

ここからさらに派生して、「申し訳ありません」と言うべきところを「申し訳ないです」と言う人が増えてきています。はじめ学生語かなあとと思っていた私ですが、サービス業・販売業の若い日本人男性はほとんどこれを使っています。

私が携帯電話の手続きに行った時に対応してくれた人は20代前半の若い店員さんでした。理系出身なのか私の端末を「コイツ」と指差したりして、面白かったのですが、私がこの人の「申し訳ないです」に驚いていると、横にいた40代の先輩らしき人に、「『申し訳ありません』だろ！」と

突っ込まれていました。

こうやって見ていくと、世の中で睨まれている言い方の中には、間違いとは言にくかったり、その現状を生んだ原因が複雑だったりして、21世紀の日本語の「現状を観察・把握する」ということは、深い考察が必要だということが分かります。

勤務している法政大学には、敬語クラスが2つ開設されています。このクラスの学生たちは月曜日の朝9時15分から勉強しています。私も自分が出版した本を使わせてもらっているので、力が入るわけですが、毎週複雑な設定のロールプレイを学生たち自身で想定して発表、敬語の文法クイズにも熱心に参加しています。やる気十分！雰囲気は最高です。

でも日本語の現状を見てみると、教えている私としては、「これで大丈夫かな～」と思ってしまうこともあります。……学生さんたち、ごめんね。だからこそ、現代の日本社会で、どのように敬語や待遇表現が使われているかを、現状を観察・把握する面からと、学術研究の成果からと、古い日本人である金子の中やエレベーターや東急電鉄に残る伝統保守のうるさ方が主張したがる面からの三方から考察を続けていきたいと考えています。



■中間支援組織の機能を発揮して、諸問題の改善に努めてまいります

## 八王子国際協会 (八王子市)

事務局長／春田 博

八王子国際協会は、市民団体、関連機関や行政の協力により、平成20年7月、公設民営の中間支援組織として設立されました。

主な活動は、外国人市民に対する生活・コミュニケーション支援事業、多文化共生意識の啓発として、国際交流・国際理解事業や八王子市からの受託事業等、幅広く取り組んでいます。

当協会の特徴は、諸事業の実行組織として、実行委員会活動で運用しています。委員会として、医療ボランティア、日本語ボランティア養成講座、防災・災害対応、国際交流フェスティバル、地域における国際交流、世界の人のふれあいタイム、留学生のための就職支援、国際

理解教育、語学ボランティア、学習支援、外国人のための無料専門相談会、外国人コミュニティ支援プロジェクト等の各12委員会構成しています。

各委員会には、当協会の個人会員230名中、約80名の会員がボランティア活動として参画し、当市が誇る市民力、地域力を発揮して、多文化共生社会の推進に大きく寄与しています。

また、日本語教育支援活動については、当協会が日本語ボランティア養成講座やステップアップ講座の実施と当協会登録7団体に専用の学習支援教室(名称:地球市民ブラザー会議室)を提供しています。

八王子国際友好クラブや八王子には



んごの会等の市民団体と連携を図り、平成27年度の学習支援教室の利用者は、日本人支援者5,877名、外国人学習者4,940名、合計10,817名にのぼり、関係者から高い評価を得ました。

課題としては、支援ボランティアの不足、会場確保や活動資金不足等の多くの問題を抱えていますが、中間支援組織の機能を発揮して、諸問題の改善に努めてまいります。

東京日本語ボランティアネットワーク様の引き続きご指導ご支援をお願い申し上げます。

### 会員団体紹介

# Nice to Meet You

ここ「センター」は土・日も休日も休み無し、色々な支援(日本語・教科学習・英語・英語会話等)を求めて、被支援者(学齢期の子どもの親の世代・若者たち)30人ほどがそれぞれの目的のために集って来、11人の指導スタッフが支えているNPOです。この10月で設立から5年を迎えた当センターでは、日本語教育の支援を十分に受けて来られなかった学齢期の子どもの達には基礎的な日本語の学習を、高校進学を控える受験生には各自の状況に合わせて各教科学習の支援もしています。ここの特質は、日本語もその他もそれぞれの力に合わせて個別に対応することで、中学生が掛け算をし、若者たちが1からやり直したり、中学校1年生の英語を勉強していることはごく普通の

### nice to meet you

■夢を叶えるサポートを

## 多文化子ども自立支援センター (中野区)

代表／中山真理子

光景です。分かるところの土台作りをしっかりし、その上に新たな知識や技術を確実に積み上げる発想です。

従って、当然、個々の被支援者の学習のために空けられる時間は一定ではありません。それに、話し合いで可能な限り合わせられるように、個々に対応しています。ですから、一人一人の支援内容・レベル・時間・曜日など全て異なります。ここに人のニーズに合った、質のいい支援



をモットーに被支援者の満足が得られるように努力する方針が表れています。

自立を看板にしたのは、子どもへの支援は高校進学では終わらない、むしろそこがスタートで、自立するまでの支援こそ求められているものだという観点からです。ですから高校進学を果たしてから、被支援者に寄り添い、目的意識を確立し、それぞれの能力・価値観・夢によって、資格取得のための支援を続け、就業・就労を実現し、社会人として送り出すようにしています。最近では、はっきりした目標を持った、よりよい就労のために日本語能力検定資格取得を、大学院入学のために論文作成を、大学・専門学校進学のために日本語・英語の強化を目指す若者が非常に多くなっているのも、特徴です。

学習者の声

# 年一回の歌舞伎鑑賞教室が 楽しみ

タパ・ヤルンカ / ネパール  
日本語教室・高円寺 (杉並区)



国立劇場にて

日本語教室・高円寺では一年に一回国立劇場の歌舞伎鑑賞教室に行きます。

歌舞伎は日本の古典舞踊劇です。歌舞伎は時に『歌や踊りの芸術』と訳されています。私は歌舞伎を3回見ってきました。ドラマが好きなので歌舞伎を楽しみました。歌舞伎を見る前に知っておくべきことがあります。歌舞伎ではすべての俳優が男性です。歌舞伎では古い言葉を使うのでわかりにくいのです。なので、歌舞伎を見る前に概要を知るのが良いでしょう。古い日本を見たい外国人は歌舞伎を一度見てください。歌舞

伎の舞台はすばらしいです。ステージが自動的に移動します。ステージは美しく装飾されています。男性俳優が女性を演じますが、動きも声も本当の女性のようです。男性であることが信じられませんでした。

歌舞伎の音楽はすばらしいです。日本のドラム、フルートと三味線は歌舞伎音楽のハイライトです。

面白いことは、誰かが席の後ろから叫ぶことがあります。私はアニメを見ているように感じました。



ボランティアの声

山本利克  
日本語教室・高円寺 (杉並区)  
楽しいひと時

「イラン社会とイスラム教」9月某日 講演会を行いました。講師は勿論イラン人、当教室の卒業生で、現在西荻窪にペルシャ絨毯の店を持って活躍中です。イランもイスラムもほとんど知らない人達に、ペルシャとアラブの違いをはじめとして流暢な日本語で丁寧に説明してくれました、卒業生が講演するのは何とも嬉しい事です。

当教室について紹介しましょう。

毎週土曜日 13:15 ~ 16:15 に2コマ開講します、日本人ボランティア約30名、学習者約40名、世界23~25カ国からの人たちです。

27年度の活動実績は、教室での学習40日。参加学習者のべ999名。一日平均25名。イベントは7回です。原則一対

一の授業で、授業内容はペアになったボランティアと学習者が相談の上決めます。

学習内容はそれぞれですが、上級者の中には芥川龍之介を読みたいとか、万葉集に触れたいという人達もいてうれしくなります。中国人の若者と二人で万葉の歌を唐詩で表現したこともあります。経済用語の解説、中国人へ資本主義経済の説明もしました。今は歴史に詳しい人と古代史談義を楽しんでいます。

最近は私のように定年退職後にボランティアに参加する人も増え、実務日本語の指導や就職や住居の事等の相談に乗ることもあります。

若い人と話す機会が少ない者にとって若者と話しができることは貴重な楽しい時間です。



### 地域からの 報告

## 練馬区のボランティア日本語教室の 現状とこれから

日本語教室ボランティア懇談会発起人一同

2016年9月14日(水)午後、練馬区役所901会議室で、第2回日本語教室ボランティア懇談会を開催。参加者は区内17教室のうち12教室から計24名。

今回は、区の担当係から現在進行中の事業について説明があり、質疑応答が行われた。区の事情を直接聞くことは大変意義があり、今後とも続けていければと思っている。

### 区の事業について

- ①国際交流サロン： ほぼ毎月、光が丘の交流ひろば、または区役所で開催。昨年は運営を光が丘地区の2教室に委託し、好結果を得た。今年からは他地区の教室にも、徐々に委託を拡大していく予定。
- ②文化交流講座： 外国人を講師とする講座の企画を募集している。奮って応募してほしい。
- ③日本語教室ボランティア養成講座： 本年度も、例年通り9月に開講。応募者87名、講座修了後に活動ができるか確認して抽選を行い、受講生20名余を決定した。
- ④日本語ボランティア登録制度： 登録の要件は決めてあり、今年度中にリストを整備する。

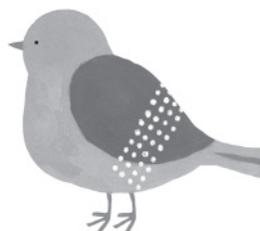
### 出席者からの意見

子どもを教えている教室から窮状が報告された。「地元の公立小中学校に入る条件に、日常使う日本語の習得を求められることがあり、対応

しきれない。各地区の教室で、もっと子どもを受け入れてもらえないか」との問いかけがあり、さまざまな意見が出された。

- ①就学を希望する子どもは、学区の学校が対応するのが、当然であり、責任でもある。地域のボランティア教室に任せるのはおかしい。
- ②実際に問題に直面して困っている子どもや保護者や支援者がいることや、教育委員会と国際交流課が協議して、打開策を見出している区もある事を考えると、私たちボランティアも、練馬区が早期に問題解決に努めるよう、問題提起はしていくべきではないか。
- ③児童生徒は教育委員会の管轄下にあるが、入学させるかどうかは、各学校長の判断に任されているという。今回は入学前の児童の問題が提起されたが、小中学校に入学すれば、問題はなくなるのだろうか？ 各学校はそれなりの対策はとっているが、さらに深刻な課題が横たわっているようだ。

対象となるのは日本語習得が必要な子どもだが、いずれは日本を背負ってくれるだろう存在である。私たちも、日頃の教室活動の中で出来ることを考えて、それなりの努力をしていきたいし、いくべきだと思う。



### Column コミュニケーションミス?

インドネシア出身のTさんと1対1で会話をしていました。彼女は熱心なイスラム教徒で、食べ物に関する戒律を守っていますし、教室へ来るときは必ずヒジャブを着用しています。日本人であるご主人はそれほど厳格ではない様子です。

Tさんは「将来は、何か事業を起こしたい」という希望を持っていて、何がしらの経済活動をしており、「お金が入ったときは、インドネシアの恵まれない子供たちに寄付をする」とのことです。「日本人は、インドネシアに比べたら、お金持ちなのに寄付をしないのはどうしてか」と私に質問します。「ご主

人は？」と訊くと「主人も寄付をしない。お金はあるのに寄付をしない」とのことです。ちょっと間があってから「私は日本人が分かりません」と続けました。「日本では、恵まれない人は社会が助ける」みたいな会話をして、レッスンは終わりましたが、あの時Tさんは「日本人が分からない」ではなく、「夫が分からない。夫に自分の行為を理解し共感してほしい」と言いたかったのかも……。 「日本人が…」という言葉の上っ面に反応してしまったために、Tさんとの一層のコミュニケーションの機会を逃してしまったのではと反省しています。 O.M

TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

### 東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日午後2時～4時  
第5金曜日/休み
- ◆場所  
東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線)出口B2b)飯田橋駅下車  
セントラルプラザビル 10F ロビー
- ◆日本語ボランティア相談窓口  
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしております。  
〒162-0823  
東京都新宿区神楽河岸1-1  
東京ボランティア・市民活動センター  
メールボックス No.4
- ◆TEL：03-3235-1171  
(呼出：金曜日活動時間帯のみ)
- ◆FAX：03-3235-0050
- ◆E-mail：webadmin@tnvn.jp
- ◆URL：http://www.tnvn.jp/
- ◆郵便局払込  
口座番号：00100-1-719259  
加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

- ◆新会員紹介  
にほんごクラブ・ゆう(江戸川区)  
ハロークラブ(豊島区)  
ウィローズコミュニケーション(江東区)
- ◆会員数(2016年11月18日現在)  
正会員：89団体  
個人協力会員：16名  
団体協力会員：1団体  
賛助会員：4団体

- ◆編集/大木 千冬、岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、神 歩、床呂 英一、林川 玲子、山内 眞理
- ◆レイアウト/鶴田 環恵